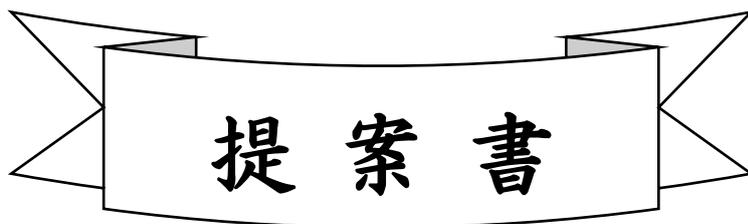


= 提案書のイメージ =

資料 3



地域のまちづくりに関する施策について

テーマ「自然環境，都市環境」

「10年後の集大成」

写真

(テーマに沿ったもの)

平成29年2月

宇都宮市河内自治会議

も く じ

1. はじめに	1
2. テーマの設定	2
3. 提案への取り組み	3
4. 「自然環境，都市環境」（平成27年度）	
(1) 現状と課題と目標	5
(2) 実現方策と実現プラン	6
5. 「10年後の集大成」（平成28年度）	
(1) 第1期	8
(2) 第2期	10
(3) 第3期	13
(4) 第4期	17
6. 審議の経緯	22
7. 委員名簿	23

表紙写真の説明

平成26年度提案書より

1. はじめに

地域のまちづくりに関する施策についての提案は、自治会議が担う大きな役割のひとつです。この提案書は、河内地域が目標とする『水と緑に囲まれ やさしい居住空間にあふれる住みやすい地域』の実現に向け、現在の地域の現状と課題を整理し、魅力ある地域の将来像を提案するものです。

これまで、第1期（平成19年度～20年度）においては、「暮らしやすく、触れ合い交流に満ちた地域に向けて」をテーマに6つの提案をしました。また、第2期（平成21年度～22年度）においては、「住みやすく、生きいきとした地域を目指して」をテーマに7つの提案をまいりました。

第3期（平成23年度～24年度）からこれまでの提案とはスタイルを変え、これからのまちづくりは地域が自ら取り組むことを基本に、住民自治の観点から次の3点を念頭に取り組みをはじめました。

- 地域の多くの人の意見を集約した提案とする。
- 自分たち（地域）が『何ができるか』を常に意識する。
- 10年後の理想と実現性を描く。

このような考えのもと、今回は「福祉、健康、安全・安心」「産業・経済、観光」について現状の把握や課題の抽出、目標設定、実現方策、実現プランについて協議をし、取り組みの方向性を導き出して、地域全体でその目標に向かって活動できるよう、実行性（実効性）のある提案となるように心掛けました。

本年度、地域自治拠点整備事業及び中央公民館改修整備事業の一体的整備として、平成28年度の供用開始に向けて河内地域自治センターの整備が進められております。供用が開始されると、地域活動がより一層、精力的に行うことができることから、まちづくりを担う新たな人材の発掘や育成の取り組みが見込まれます。

この提案書が、河内地区まちづくり協議会で進めている「地域ビジョン」策定の一助となり、河内地域が本市の中でもより一層輝きを増し、誇れる地域として持続的に発展していくこととなれば幸いです。

2. テーマの設定

(1) 設定の考え方

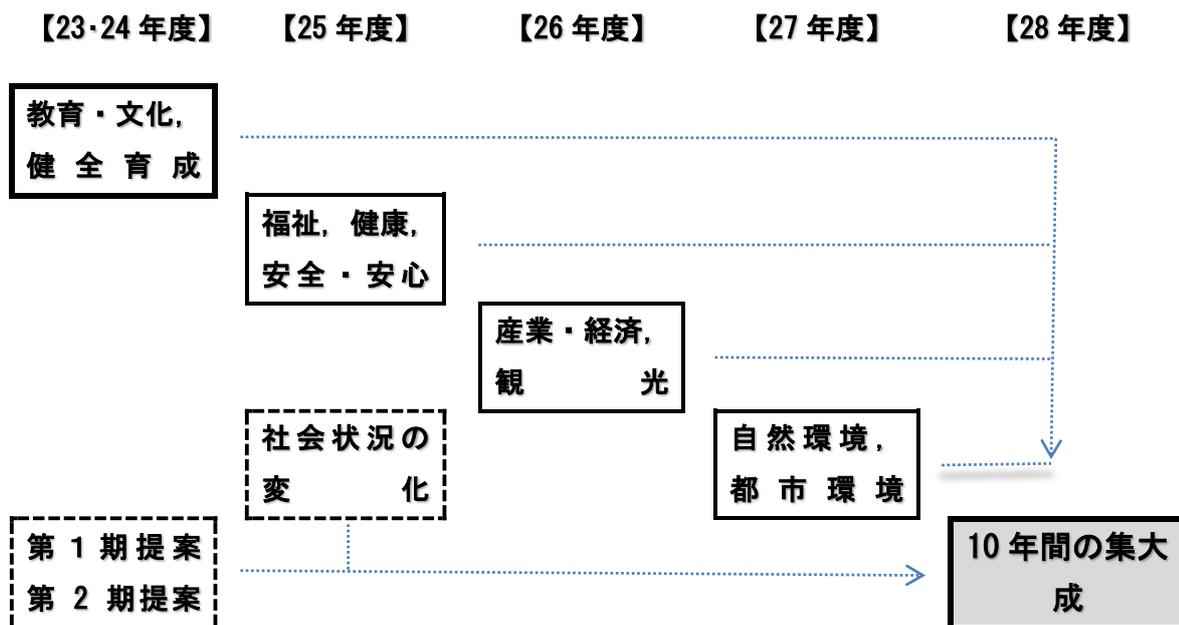
今回のテーマの設定にあたっては、合併後8年目を迎えた自治会議が最終年度に近づいていることから、第3期(平成23・24年度)の提案から4つのテーマを設定し、最終年度を見据えて検討していくこととしました。

具体的には、地域の様々な課題をすべて洗い出し、分野別に体系化することにより、提案内容に統一性や継続性を持たせることとしました。

また、地域の10年後の姿をイメージし、地域の多くの皆さんが様々な形で、まちづくりに関わっていただけますよう、より身近でわかりやすい提案内容としました。

(2) 計画的な取り組み

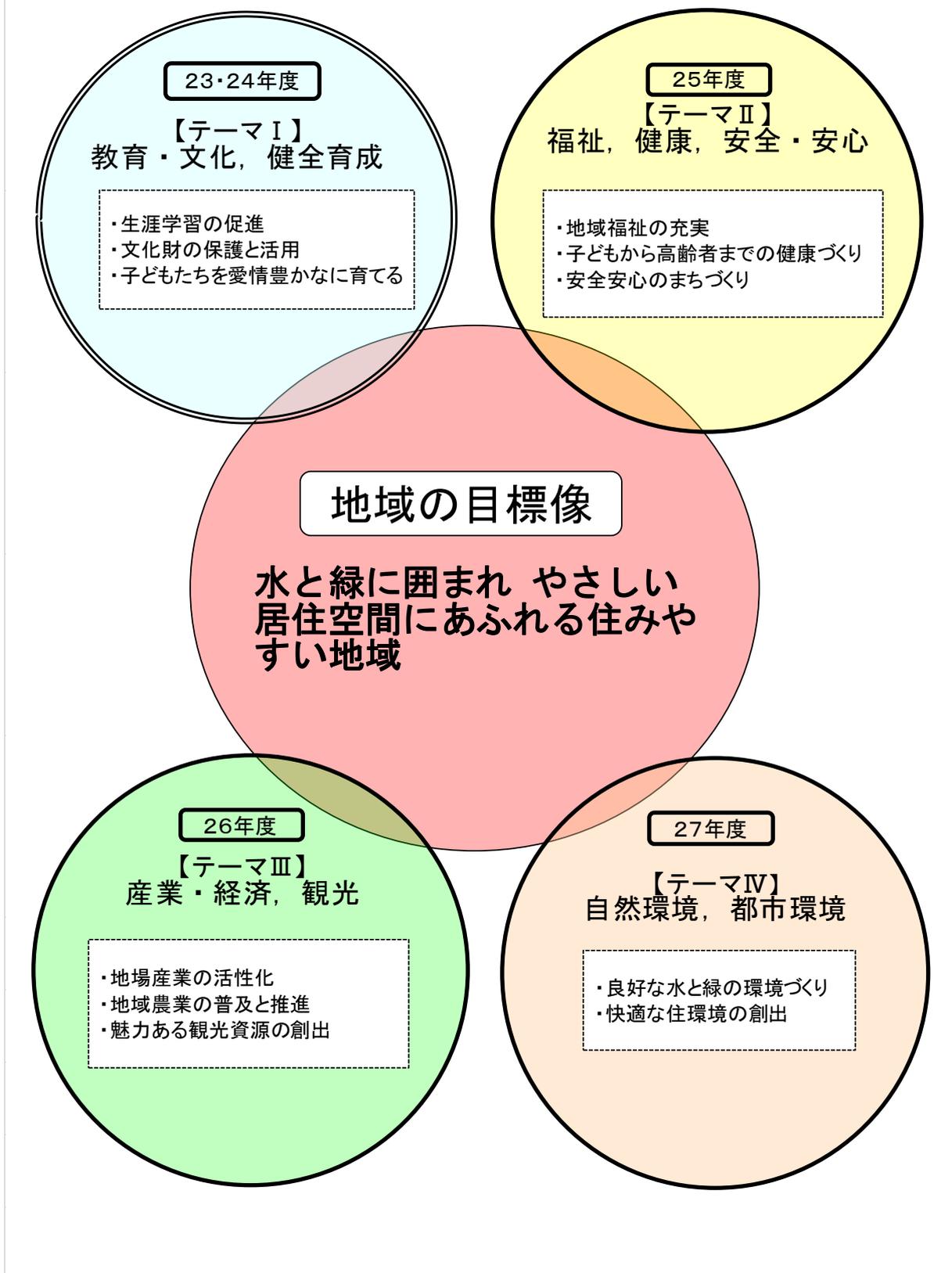
テーマの設定にあたりましては、宇都宮市が取り組む主要な施策としての25項目の中から、地域の特性等を考慮して9項目に絞り込みました。さらに、類似の分野を4つのテーマに集約して、下記のように計画的に取り組んでいくこととしました。



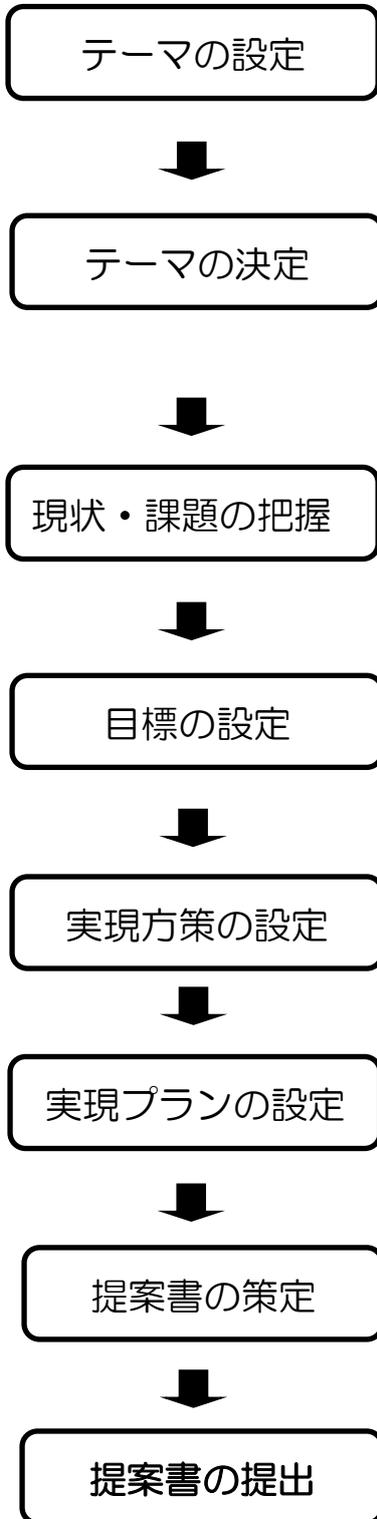
今期(平成25・26年度)は、4つのテーマのうち平成25年度に「福祉, 健康, 安全・安心」平成26年度に「産業・経済, 観光」について検討し、このテーマについての提案を行いました。

最終期の平成27年度は、「自然環境, 都市環境」について検討し、すべてのテーマが整うこととなります。自治会議の最終年となる平成28年度には、これら4つのテーマについて、この間の社会状況の変化や第1・2期の提案等も踏まえて総合的に検討し、10年間の集大成として今後の地域のまちづくりに資する提案を行う予定です。

まちづくり提案の体系図



3. 提案への取り組み



各委員より提出された施策項目をもとに、分野ごとにグループ化し、それぞれの見出しにテーマ名を設定しました。

9つのテーマを類似の4つのテーマに集約し、年度毎に取り組むテーマを決定しました。今期は「福祉、健康、安全・安心（平成25年度）」「産業・経済、観光（平成26年度）」について提案することとしました。

地域の強みや弱みなどを分析しながら現状を客観的に把握し、そこから読み取れる地域共有の課題を導き出しました。

導き出された4つの課題に対して、10年後の理想とする姿を予想しながら、今後、地域で取り組むまちづくりの目標を設定しました。

目標を実現するために必要な手段や手法について話し合い、方策（方向性）を設定しました。

実現方策を達成するための具体的な取り組みを審議し、実現プランとして設定しました。

これまで審議を重ねてきた内容を、今期の提案書としてまとめました。

まちづくりに関する施策の提案書を、市長あて提出しました。

4. 「自然環境, 都市環境」(平成27年度)

(1) 現状と課題と目標

○⇒強み, ●⇒弱み

	自然環境	都市環境
現状	<ul style="list-style-type: none"> ○自然が豊かで水と緑に恵まれている。 ○農産物が採れる地域である。 ○都市部と農村部のバランスが取れている。 ○緑に囲まれた公園や散歩道がある。 ●農地や山林が減少しつつある。 ●不法投棄が多発している。 ●森林が住宅地になっている。 ●農業後継者が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしやすい環境整備が進んでいる。 ○公害が少ない。 ○国道や鉄道があり交通網が整っている。 ○岡本駅と周辺の整備が進んでいる。 ●空き家が増えている。 ●まちなかが活性化されていない。 ●車に乗れない高齢者には不便である。 ●住宅密集地が多くなってきている。



課題	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然を保全していく必要がある。 ・自然環境を整えていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境を良くしてひとにやさしい地域にしていく必要がある。 ・自然を守りながら都市環境を整える必要がある。
----	--	--



目標	豊かな自然の中でひとのこころを育む「まち」	安心して楽しく暮らせるひとにやさしい「まち」
----	-----------------------	------------------------

(2) 実現方策と実現プラン

【自然環境】

目 標

豊かな自然の中でひとのこころを育む「まち」

(実現方策1) 自然を守る学習や体験を充実する。

《実現プラン》

- ① 市民が活動しやすいよう学習の場を設ける。
- ② 子ども達への有識者による指導で学習や体験をさせる。
- ③ リーダー養成と組織化を進める。

(実現方策2) 水と緑にふれあう機会を増やす。

《実現プラン》

- ① 自然とふれあうマップを作る。
- ② 湧水池や河川を利用したイベントを実施する。
- ③ 地域内の遊び場を充実させる。

(実現方策3) 自然を守るひとの輪をつくり地域力を高める。

《実現プラン》

- ① 地域の自然保護団体と連携を取り、地域力を高める。
- ② 親子による自然観察会を開催する。
- ③ クリーンな地域にするための活動を行う。

【都市環境】

目 標

安心して楽しく暮らせるひとにやさしい「まち」

(実現方策4) 情報を共有し安全なまちづくりを進める。

《実現プラン》

- ① 住民の安全意識を高めるための拠点を設ける。
- ② 地域防災マップ等を活用し、地域の安全を守る。
- ③ 「地域を守るパトロール隊」をつくり、地域に情報を発信する。

(実現方策5) 花と緑にあふれたまちなみをつくる。

《実現プラン》

- ① 花と緑のコンテスト等を実施して、明るい『まちなみ』づくりを啓発する。
- ② 公園や休耕地を利用した大型花壇を作る。
- ③ 全地域で「花いっぱい運動」を展開する。

(実現方策6) 農村部と都市部の交流を図る。

《実現プラン》

- ① 地域の食材を使った試食会等を実施する。
- ② 地域の農・林生産物を利用し、地域ブランドをつくる。
- ③ 農業体験やイベントをとおして、都市部との交流を図る。

5. 「10年後の集大成」(平成28年度)

【第1期】暮らしやすく、触れ合い交流に満ちた地域に向けて

提案1 健康で明るく暮らせるまちの創造

《提案1》水資源の保全

《内容》環境への負荷が少ない生活の取組を啓発するなど、水資源の保全に取り組むこと

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《提案2》農業経営の改善

《内容》農産物直売所や農産加工所の設置を支援するなど、農業経営を支援すること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《提案3》スポーツ環境の整備

《内容》各種運動施設の充実や施設利用の負担軽減など、気軽にスポーツに親しめる環境

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

提案2 次代を築く人材の育成

《提案4》 地域ぐるみによる子どもたちへの教育活動の支援

《内容》 教育活動への支援やみんなが連携する仕組みづくりなど、地域ぐるみによる子どもたちへの教育活動を支援すること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《提案5》 地域の文化財を活用した地域に対する愛着の醸成

《内容》 地域の文化財に触れる場を提供するなどにより、地域に対する愛着を高めること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《提案6》 国際理解教育の強化

《内容》 A L T の配置や中学生の海外派遣を拡大するなど、国際理解教育を強化すること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

【第2期】住みやすく、生きいきとした地域を目指して

提案1 快適で安全・安心に暮らせるまちづくり

《提案1》 利便性の高い交通環境の整備

《内容》 利便性の高い交通環境の整備を図るとともに、交通弱者である高齢者の外出支援の拡充を図ること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《提案2》 快適な道路環境の整備

《内容》 人、自転車、自動車のいずれにもやさしい快適な道路環境の整備を図ること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《提案3》 水資源の保全

《内容》 環境への負荷が少ない生活への取り組みについて意識高揚を図ること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

提案2 多様な地域資源を活かしたまちづくり

《提案4》 歴史的文化遺産を活かしたまちづくり

《内容》 地域内に存在する多くの歴史的文化遺産を活用したまちづくりを推進すること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《提案5》 自然・歴史・文化を学ぶ周遊コースの整備

《内容》 白沢宿を起点とする自然・歴史・文化を学ぶ周遊コースの整備を図ること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

提案3 農業の多面的機能を活かしたまちづくり

《提案6》環境保全農業の普及促進

《内容》 豊かな自然環境を守るため、環境保全型農業の普及促進を図ること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《提案7》農産物を活かした地域の活性化

《内容》 地域内の農産物を活かして地域の活性化を図るため、農産物直売所や農産物加工所の設置と運営を支援すること

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

【第3期】テーマ『教育・文化，健全育成』

「教育」

目標 生涯学習の充実により，子どもたちから高齢者まで笑顔で暮らせる「まち」

《実現方策1》 子どもから高齢者まで学べる場をつくる

《実現プラン》 ①昔遊びなど，地域ボランティアによる集いと学びの場を開設する。

②地域内施設で，子どもの作品展示会を開催する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

《実現方策2》 地域が主体となって学びの場をつくる

《実現プラン》 ①自然や休耕地を活かした農業などの体験学習を開催する。

②郷土料理の勉強会を開催する。

③「地域の日」を制定する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

③ _____

《実現方策3》 高齢者の知識や経験を子どもたちに伝える

《実現プラン》 ①知識や経験を子どもに伝える指導者養成講座を開催する。

②地域の達人の人材バンクを創設する。

③小・中学校への出前講座を開催する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

③ _____

目標 水と緑を活かした学びを通し、自然と親しめる「まち」

《実現方策1》地域の貴重な自然を守る教育を進める

《実現プラン》①子ども向けの自然観察マップを作成する。

②小・中学生に、環境保全の体験型学習や出前講座を開催する。

③地域住民を対象に観察会や自然保護セミナーを開催する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《実現方策2》地域の素晴らしい自然をまちづくりに活かす

《実現プラン》①自然を活用した散策コースを設定し、散策マップを作成する。

②魚のつかみ取り大会を開催する。

③田んぼで音楽会を開催する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《実現方策3》農業体験や食育を通して自然の大切さを学ぶ

《実現プラン》①野菜作りの農業体験を実施する。

②特産品を使った料理教室や伝統料理の教室を開催する。

③B級グルメのコンテストを開催する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

「文化」

目標 文化財を活用し、地域の魅力を発信する「まち」

《実現方策1》文化財を多くの人に知ってもらう

《実現プラン》①文化財の見学コースを設定し、案内マップを作成する。

②文化財解説ボランティアによる勉強会（見学会）を開催する。

③歴史資料の展示会を開催する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《実現方策2》文化財をまちづくりに活かす

《実現プラン》①景観形成重点地区（白沢宿）の観光コースを設定する。

②地域ボランティアにより文化財案内所を設置・運営する。

③文化財の見学会に併せて、フリーマーケットや特産物の販売を開催する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《実現方策3》文化財を守り伝える人材を育成する

《実現プラン》①人材育成の勉強会や講習会等を開催する。

②文化財一覧表等を作成し、データ管理を行う。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

「健全育成」

目標 地域みんなが楽しく行事に参加し、交流の盛んな「まち」

《実現方策4》 地域みんなが楽しめる交流の場をつくる

《実現プラン》 ① 運動会等の各種イベントで河内音頭を普及させる。

② 各種イベントを開催する。(連風の競技会・芋煮会・かかしまつり・田んぼ
の中でスライドや映画の鑑賞会など)

③ 空家利用のカフェやおしゃべりサロンを開催する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《実現方策5》 地域の各種団体や学校との連携を強化する

《実現プラン》 ① 地域と学校等が連携して子どもの作品展を開催する。

② 各種団体による出前講座を開催する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____

《実現方策6》 地域活動の指導者を育成する

《実現プラン》 ① 指導者を育成するカリキュラムを作成し、養成講座を開催する。

② 地域ボランティア登録制度を創設する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____

【第4期】テーマ『福祉, 健康, 安全・安心』『産業・経済, 観光』

「福祉」

目標 みんなの思いやる心で幸せを感じる「まち」

《実現方策1》世代を超えた交流の場を充実させる

《実現プラン》①地域施設を活用し地域サロンを開設する。

②昔遊びを通して世代を超えた交流を行う。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

《実現方策2》誰もが気軽に利用できる移動手段を確保する

《実現プラン》①外出困難者が身近なところで買い物などができる場をつくる。

②さぎそう河内号等の利用を広めて、誰もが気軽に外出できるようにする。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

《実現方策3》地域が連携して住民の生きがいづくりをする

《実現プラン》①地域で生きがいづくりの場をつくる。

②地域の人材を活かした講座や教室を開催する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

「健康」

目標 健康で生きがいのある生活ができる「まち」

《実現方策4》誰もが楽しめるスポーツを通して健康増進を図る

《実現プラン》①ウォーキングマップのルートを作成しウォークラリーを開催する。

②地域の施設を利用したスポーツ教室を開催する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

《実現方策5》食育や地産地消を通して健康づくりを進める

《実現プラン》①食育セミナーを開催する。

②地区内で採れた農産物を使ったグルメコンテストの開催をする。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

《実現方策6》ひとりひとりの健康に対する意識を高める

《実現プラン》①健診に合わせて、地域で健康イベントを開催する。

②地域で体力テストを実施する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

「安全・安心」

目標 やすらぎのある暮らしができる安全・安心な「まち」

《実現方策7》交通安全意識を高めて安全で安心な交通環境づくりを進める

《実現プラン》①交通安全教室を開催する。

②地域の危険マップを作成し、危険箇所での安全指導をする。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

《実現方策8》防災意識を地域に浸透させて防災行動力を高める

《実現プラン》①自治会で避難訓練等を実施し、防災意識を高める。

②自治会掲示板等を活用した緊急時の情報伝達を実施する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

《実現方策9》防犯意識を高めて地域の防犯力の向上を図る

《実現プラン》①警察・学校・家庭と連携して防犯教育を行う。

②声かけあいさつ運動を実施する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

「産業・経済」

目標 地域に特産物があり産業や経済が豊かな「まち」

《実現方策1》 地域の特産物のブランド力を高める

《実現プラン》 ①特産物にインパクトのあるネーミングを考案する。

② I T を活用し河内の特産物を広く P R する。

③各種の地域農産物を活用したカレンダー等を作成する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

③ _____

《実現方策2》 農業の魅力を浸透させ担い手を育成する

《実現プラン》 ①付加価値の高い農産物を生産する。

②食育をとおして農業の良さをアピールする。

③農業の魅力を感じるような農業体験を実施する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

③ _____

《実現方策3》 地域と企業との交流を図り連携する

《実現プラン》 ①地域と企業が一体となったイベントを開催する。

②商工農についての研究会を発足する。

《今後の取り組み》

① _____

② _____

「観光」

目標 地域資源を活かした観光でにぎわう魅力ある「まち」

《実現方策4》文化財を有効活用し観光につなげる

- 《実現プラン》
- ①メディア（新聞，テレビ等）を利用して全国に発信する。
 - ②観光ボランティアを育成し，文化財巡りツアーを企画する。
 - ③文化財マップの看板を作成する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

《実現方策5》自然環境の良さを活かし河内らしい観光スポットを充実させる

- 《実現プラン》
- ①ウォーキングルート・サイクリングルートを作成する。
 - ②観光スポットの休憩所や駐車場を確保する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____

《実現方策6》伝統文化を守り続ける継承者を育成する

- 《実現プラン》
- ①隠れた伝統資源を発掘し地域の宝にする。
 - ②小中学校で地域の伝統文化の講座を開催する。
 - ③若い世代を中心に伝統行事を開催する。

《今後の取り組み》

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

6. 審議の経緯

平成27年度

- 平成27年 4月27日 第1回自治会議
・地域のまちづくりに関する施策の提案について説明
- 平成27年 6月22日 第3回自治会議
・個別テーマの現状把握の検討
- 平成27年 7月22日 第4回自治会議
・個別テーマの現状把握の確定・課題抽出の検討
- 平成27年10月23日 第5回自治会議
・課題抽出の確定
・10年後の目標設定、実現方策の検討
- 平成27年12月18日 第6回自治会議
・目標、実現方策の確定
・実現プランの検討
- 平成28年 2月19日 第7回自治会議
・実現プランの確定

平成28年度

- 平成28年 4月 ○日 第1回自治会議
・10年後の集大成
- 平成28年 5月 ○日 第2回自治会議
・10年後の集大成
- 平成28年 6月 ○日 第3回自治会議
・10年後の集大成
- 平成28年 7月 ○日 第4回自治会議
・10年後の集大成
- 平成28年10月 ○日 第5回自治会議
・10年後の集大成
- 平成28年12月 ○日 第6回自治会議
・10年後の集大成
・提案書（案）の審議
- 平成29年 2月 ○日 第7回自治会議
・提案書（案）の確定

7. 委員名簿

会	長	杉	原	弘	修
副	会	川	上	幸	子
委	員	岩	寄	悦	男
委	員	加	藤	幸	雄
委	員	菊	地	久	美
委	員	小	曾	和	子
委	員	小	戸	光	晴
委	員	櫻	森	基	一
委	員	島	井	正	郎
委	員	清	田	映	重
委	員	白	水	喜	夫
委	員	多	坂	美	雄
委	員	田	出	芳	子
委	員	田	村	正	男
委	員	永	井		寛
委	員	中	澤	敏	美
委	員	防	木	正	雄
委	員	松	谷	悦	広
委	員	宗	像		茂
委	員	山	田	祐	子
委	員	我	妻	勝	次

(※委員名は、会長・副会長を除き50音順)